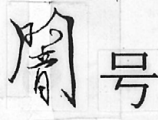


# 新聞会二千年問題

## ～編集長復活、その傾向と対策～



発行所 東京薬科大学 新聞会  
責任者 矢内一光



ついに西暦二千年まで二週  
間を切った。ここで一つの大き  
きな問題が我々の前に立ち上  
りだかっている。西暦二千年の  
下二桁表記である〇〇をコン  
ピューターが正しく認識でき  
ずには誤作動を起こすという、  
いわゆる二千年問題、通称Y  
2Kである。新聞会において  
も、倉林さんや頭にICを積  
み込んでいる一部の会員に対  
する影響が危惧されている。  
しかし空席となっていた編集  
長、否、編集長がようやく復  
活する来年度の新聞会に恐い  
ものは何も無い。今年度、昨  
年度に比べて人数こそ少ない  
ものの、変(中略)、まさに  
少数精鋭である。

その個性派集団をまとめる  
会長に就任したのは、らあめ  
んの愛称で親しまれている、  
生命科学部の松澤敏広君であ  
る。容姿端麗、鯨吹馬食、抱  
腹絶倒と酒宴男優に必要な三  
条件を兼ね備えた彼は、外交  
担当の会長にまさって打って  
付けの人物だ。また、今年度の  
赤ふん選手権世界大会ミドル  
級で、優勝した実力派でもあ  
る。しかし、歴代の会長がド  
クターベーパー中毒にかかっ  
ていることから、密かにドク  
ベ撲滅委員会からマークされ  
ているようだ。

そんな会長をサポートする  
副会長になったのは、薬学部  
の藤原明貴君。何の気の迷い  
からか、自らのロリコン度を  
計るためにロリコン係数を定  
義して以来、会員から下僕扱  
いを受けている。そんな彼は  
黄昏の恋人達応援団、通称L  
E.Cの会長として、愛の伝導  
に務めている。宇宙を愛で包  
み込むのいいが、宴会部長

の仕事も忘れてないでがんばっ  
てほしい。なお、会費を集め  
るときは某金融会社を見習う  
と速やかに集まるので、心し  
ておこうよ。

復活した編集長は大塚様さ  
れたのは、生命科学部の鎌田  
麻利江さん。ファッションセ  
ンス抜群の彼女は、夏場はエ  
キゾチックなスタイルで巻を  
魅了していた。しかし冬が近  
づくにつれ、徐々に隠してい  
た牙を剥き出した。スパー  
ギタリストK氏に対し、日さ  
ん(仮)をネタに巧みに追い  
つめ、僅か一ラウンドでTK  
O勝ちを収めたのを手始めに  
連勝を重ね、既に当会最強の  
声が高い。そのセンスと強さ  
をこれからの新聞作成に遺憾  
なく発揮してほしい。

会計となつたのは、生命科  
学部の西原早織さんである。  
周囲の馬鹿話に流されること  
なく、着実に仕事をこなして  
いく彼女は、財布の紐を任せ  
るにふさわしい。しかし、  
自宅の車にエンジンとしてP  
CエンジンD.U.Oを搭載して  
いるなど、実はかなりのマニ  
アである。なお、会計の仕事  
は大蔵省や大手銀行などの資  
金運用よりも、むしろ某新興  
宗教団体のお布施集めを参考  
にすると、上手く行くと思わ  
れる。ただし、信仰に目覚め  
てしまい、霊や印鑑を売った  
り、定説を唱えたりするのは  
勘弁して下さい。

何だか次期執行を紹介して  
いるうちに、二千年問題より  
もむしろ一年生のほうが、恐  
ろしい気がしてきたのだが、  
おそろく小生の気のせいであ  
らう。今から来年の新聞会が  
楽しみである。

人はなぜ新聞会に入るの  
であろうか。辛く、絶望的  
な締切の戦いが新聞会の  
全てであるも関わらず。  
現代哲学における新聞会  
問題は、活発に議論さ  
れる争点である。「新聞会  
とは愛である」フランスの  
恋愛評論家ハラ・フー  
トンは新聞会について  
聞かれてこう答えた。  
成程、確かに新聞会による  
活動は無償の努力による  
報道であり、慈善活  
動の一種とも考えられ  
るだろう。彼の立場は一般  
に唯愛論と呼ばれ、広く新  
聞会内で支持されている。  
また、SBD総裁として著  
名なインドネシアの唯愛論  
者ワタ・ナベは「新聞会に  
は寂しい人が多いよね。み  
んな遊ぼう」という画期的

### 新聞会再考

唯愛論を他者との関係に重  
きを置く哲学とすれば、その  
対称にあたるのがロシアの詩  
人ロマンチエフが提唱した「青  
の現象」論である。この思想  
は自らを精神的に追いつめ  
極限状況に至ろうとする人間  
の心理をヘーゲル現象学の立  
場から考察するもので、新  
聞会の新しい側面を見せて  
くれた。あと数ヶ月もすれ  
ば新聞会も春を迎える。新  
歓祭では、こうした理論武  
装の上でスカッと新入生を  
獲得して頂きたい。出来れ  
ば女の子を... (久方)

おめでた♡  
バイトの同僚に「最近つ  
いてないんだよ」とぼやか  
れた。「女の子」を妊娠させ  
たのだという。透かさず「夜  
の過ち」と茶化してはみた  
が、どうもそうではないら  
しい。全く、救い様のない話で  
ある。

私がこの話をすると女の子  
は大抵、彼の事を「女の敵」  
と呼ぶ。しかし男の子は「そ  
ういうこともあるよな。彼も  
なかなか可哀想に」と同情す  
る。

こんなふうに、恋愛問題に  
おける男女間の考え方の違い  
は、思わぬところで浮き彫り  
にされる。ここでは、紙面の  
都合上、割愛せざるをえない  
が、考えてみるという面白い  
面白いかも知れない。

さて、そろそろ春では、ク  
リスマスを祝う季節となっ  
てきました。みなさんも、「お  
めでた」には十分気を付けま  
しょう♡

場から考察するもので、詩  
集「青の現象」から名付け  
られた。ロマンチエフは詩集  
の発表後、突発性ブルー症  
候群のために病床にあった  
が、新聞会副会長レック・  
ボナバルトによって精神的  
な論文の発表がなされ、今  
日は現代新聞会哲学  
の中核をなしている。  
さて冒頭の命題をい  
ま一度検証したい。人  
はなぜ新聞会に入るの  
であろうか。唯愛論お  
よび「青の現象」論に  
おける考察は私たちに、新  
聞会の新しい側面を見せて  
くれた。あと数ヶ月もすれ  
ば新聞会も春を迎える。新  
歓祭では、こうした理論武  
装の上でスカッと新入生を  
獲得して頂きたい。出来れ  
ば女の子を... (久方)

動物になってしまったのであ  
る。しかし、この中でひと  
くわい目を引いたのがベガサ  
であった。「ベガサって動物  
だったの?」と、この狂気の  
世界へと引き込まれてしま  
った。張本人は、ベガサの登  
場が驚いた様子でつぶや  
いた。かくして東大新聞会  
はベガサをも巻き込んだ一  
大動物園と化してしまっ  
た。某女史は珍珍を自玉に  
してその筋へと取り込みを  
かけた。ねらい通り動物園  
に当たら、某女史は「ほら  
こんなのだった。金の亡者と  
成り下がった某女史は、次  
々と動物園を礼束で取りつ  
たのである。その状況を笑  
ながら見ていた中華ソバが  
叫んだ。「怨念がおんねん  
だ。」「怨念がおんねん」  
その瞬間、Fが会室  
の中を吹き荒れ、総額数万  
とも言われる。会室を吹き  
飛ばした。みなはそのあまり  
の寒さに我に返り、この一連  
の不祥事に暮が下りたと言  
う。

嫌味  
明りにつられて入ってきた  
虫が数匹飛んでいるだけで  
夜の会室にはFとKの二人  
しかない。九時の部屋は冷  
たくひっそりとしている。  
いや、そうでなければいい  
のだ。しかし、Fが突然切り  
出した。「K、君は少し騒ぎ  
すぎじゃないか、もっと人  
の空気を読んだほうがいい」  
Kは、申し訳なさそうにう  
むむしていたが、本心はか  
き消していた。その証拠に  
わき足を組み替えたではない  
か。Fは、Kのその癖を見逃  
さなかった。Fはさらにま  
くした。「だいたい、君は  
自分が罪人だということに  
全く気づいていない。君の  
悪質な黒いペンや言動が何  
を引き起こしているか知っ  
てるか?」Fは一呼吸だけ  
置いてまた続ける。「かわい  
い後輩たちが、君のせいで  
涙で濡らしているんだ。君  
の度が過ぎた校正で、少  
しノイローゼ味になってしま  
った。」「せめて、Fの右  
手にカナリヤ、左手にバリ  
カンを持った姿は、苦しんで  
人を救い出してあげたいと  
いう気持ちが強くなっていた。  
自分のためではなく、他人  
のために尽くすFはまさに、  
えせキリストであった。Kは  
Islam信者のように、その説  
法を聞いていた。つまり、全  
く耳を傾けていなかったの  
である。その上、さも忙し  
そうに自分の腕時計を覗き  
こんだではないか。◆それが  
嫌にさわった。Fは強く  
握りつけたその拳を、心持  
ゆるめると、Kの顔をまる  
で人類最初の殺人を犯した  
アベル殺しの犯人カインの  
ように殴りつけた。「まず  
これは俺の分」「次に、これ  
は俺の分」「そして最後に  
俺の分」(終)



